

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804413

案件番号 :1884506

主分野課題 :ガバナンス/地方行政

副分野課題 :

使用言語 :英語

案件概要

コミュニティ開発を担当するフィールド職員を対象として、効果的なコミュニティ・ファシリテーションの手法及びコミュニティ主体の開発についての概念を習得するための研修を実施する。研修参加者が習得した新たなコミュニティ開発の考え方や手法が、所属する組織やコミュニティで共有されることにより、地域の開発活動が、地域資源を活用して多様な関係者が協働する、住民主体の活動に改善されることを目的としている。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 参加者が習得した新たなコミュニティ開発の考え方や手法が、参加者の所属する現場レベルでコミュニティ開発に取り組む組織やコミュニティで共有され、コミュニティ開発についての戦略や活動に具体的な変化が見られる。</p> <p>【成果】 1. コミュニティ開発に関する研修員自身の振り返りを通じて、自らの課題や達成すべき目標が明らかになる。 2. コミュニティとは何か、外部者の役割とは何か、についての明確な理解とともに、ファシリテーションの手法を実践できるようになる。 3. 行政と市民社会の協働を通して、コミュニティの主体性を引き出し、地域資源を活用している日本のコミュニティ開発事例や経験から、具体的な教訓を引き出し、自らの現場に活かすことができるようになる。 4. 研修員の組織やコミュニティにおいて、研修で新たに習得された考え方やファシリテーションの手法を共有し、活用するためのアクションプランが作成される。 5. 研修員の組織において研修を通じて習得された考え方や方法論が共有され、コミュニティでの実践に活かされる。</p>	<p>【対象組織】 コミュニティ開発において現場レベルで活躍するフィールド職員を有するNGO等の組織や地方行政機関</p> <p>【対象人材】 1. コミュニティ開発において現場レベルで活躍するフィールド職員 2. コミュニティ開発にかかる職務経験年数3年以上 3. 現在または将来に渡って継続的にコミュニティ開発に従事する者</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>【事前活動】 インセプションレポート作成（テーマ：参加者が従事しているコミュニティ開発活動について）</p> <p>【本邦研修】 以下の内容の講義、ワークショップ、視察、討論を行う。 1. (1) 研修員間での経験共有と分析（ワークショップ） (2) コミュニティ開発の原理や歴史について（講義/ワークショップ） 2. (1) コミュニティ開発における外部者の役割（ワークショップ） (2) 事実に根ざしたファシリテーションの手法（講義/ワークショップ） 3. (1) 地域づくりの現場訪問（フィールド実習・意見交換・経験交流等） (2) 現場訪問で得た事実からの具体的な教訓の抽出（ワークショップ） 4. (1) 研修で得た事実からの教訓・学びの抽出、所属組織やコミュニティでの共有と実践活動（アクションプラン）の考案（ワークショップ/個人作業） (2) アクションプラン共有・意見交換・修正</p> <p>【事後活動】 所属組織への実践アイデアの共有と実施</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2019/1～2019/2</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>産業開発・公共政策部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA横浜</p>
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p>	<p>2018～2020</p>

主要協力機関

調整中

特記事項
及び
ホームページ